

第4分科会

SDGs と大学教育 —実践編—

分科会概要：

2015年、国連サミットでSDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) が採択された。SDGsは世界のさまざまな問題を17に整理したことで、わかりやすく、教育にも取り入れやすくなった。初等・中東・高等教育や産業界はいち早くSDGsを取り入れ、SDGsに関連した教育活動や企業活動を展開するようになってきている。本FDフォーラム第1日目に開催されるシンポジウム「SDGsと大学～高等教育を通じた社会的課題の同時解決はいかにして可能か？」では、SDGsの概論と産業界の実践事例が取り上げられる。本分科会はその流れを受けつつ、大学でのSDGsを活用した実践事例に焦点を当てたい。

大学教育においてもSDGsは有用であろう。自分たちの活動と国際問題との接点を見出す、環境問題などの複合的な問題を多面的にとらえるための視点として利用するなどの活動が考えられるが、SDGsは大学教員の専門の枠を超えた広範な分野を含んでいるため、教育に活かす具体的な方法は発展途上の感が否めない。そこで、本分科会では3人の話題提供者からSDGsを取り入れた教育事例をご紹介いただき、大学の授業でSDGsをどのように活用できるかを考えてみたい。

<プログラム>

趣旨説明

畑田 彩 (京都外国語大学 外国語学部 准教授)

講演 1.

学是「学の実化」実現のために～企業・団体とのディスカッションを通じてSDGsを考える～

松村湖生 (関西大学中等部高等部 研究開発部 主任)

講演 2.

「京都外国語大学コミュニティエンゲージメント・プログラム：実践事例の現状と課題」

野崎俊一 (京都外国語大学 国際貢献学部 教授/ コミュニティ・エンゲージメントセンター長)

中井達也 (京都外国語大学 コミュニティ・エンゲージメントセンター 課長)

講演 3.

「学生が主体的に学び・活動するSDGsのゼミ学習」

石田好広 (目白大学 人間学部 教授)

—休憩—

質疑応答

パネル&フロアディスカッション